

みずほCustomer Desk Report 2024/01/22 号 (As of 2024/01/19)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	148.20
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	148.13	1.0881	161.17	1.2712	0.6581
SYD-NY High	148.80	1.0898	161.84	1.2714	0.6601
SYD-NY Low	147.84	1.0866	160.89	1.2662	0.6560
NY 5:00 PM	148.17	1.0898	161.47	1.2702	0.6598
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,863.80	395.19	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	15,310.97	255.32	日本10年債	0.6700%	0.0200%
S&P	4,839.81	58.87	米国2年債	4.3878%	0.0353%
日経平均	35,963.27	497.10	米国5年債	4.0525%	0.0084%
TOPIX	2,510.03	17.94	米国10年債	4.1293%	▲0.0118%
シカゴ日経先物	36,340.00	230.00	独10年債	2.3040%	▲0.0015%
ロンドンFT	7,461.93	2.84	英10年債	3.9255%	▲0.0005%
DAX	16,555.13	▲ 12.22	豪10年債	4.3000%	0.0340%
ハンセン指数	15,308.69	▲ 83.10	USDJPY 1M Vol	9.20%	▲0.03%
上海総合	2,832.28	▲ 13.50	USDJPY 3M Vol	9.51%	▲0.02%
NY金	2,029.30	7.70	USDJPY 6M Vol	9.63%	0.03%
WTI	73.25	▲ 0.70	USDJPY 1M 25RR	▲0.98%	Yen Call Over
CRB指数	265.38	▲ 0.09	EURJPY 3M Vol	8.98%	▲0.05%
ドルインデックス	103.29	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	9.35%	▲0.00%

東京	東京時間のドル円は148.13レベルでオープン。日本株が堅調に推移し5・10日による実需のドル買いもあり、ドル円は上昇推移。鈴木財務相による円安牽制発言を受け小幅反落するも、その後は押し目買いもあってか年初来高値の148.80まで上伸。結局148.76レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.76レベルでオープン。米10年債利回りやクロス円の下落を伴って147.84まで売られ、結局148.16レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2693レベルでオープン。早朝に発表された英12月小売売上高が予想を下回り、1.2667まで下落。結局、1.26805レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。東京時間では、本邦CPI(前年比)が前回より低下するも、特段大きな値動きは見られず。その後日本株高に円売りが優勢となり、年初来高値の148.80まで上昇。しかし、その後は英小売売上高結果を受けポンド円が低下する動きに上値を抑えられ、148.16レベルでNYオープン。朝方は低下していた米金利が再び上昇する動きを横目に、148.45まで戻す。続いて発表された米1月シガン大学5-10年先の期待インフレ率(速報値)が予想を下回った事を受け、発表直後は148.08まで売られるも、ヘッドラインが予想を上回っている事が意識されてか、その後148.52まで買い戻される。その後は米長期金利低下が重しとなり、148.06まで反落するが、午後は週末を控え、148.20近辺を挟んだ動意乏しい推移が続き、148.17レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。特段の注目材料が見当たらない中、1.0880近辺を挟んだ狭いレンジ推移が続き、1.0883レベルでNYオープン。朝方は1.0866まで値を下げる場面もあったが、その後独金利が上昇する展開が支援材料となり、1.0890手前まで反発。午後ユーロ高の流れが続き、終盤にかけては今日の高値である1.0898まで値を戻し、そのままクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大野・岩下

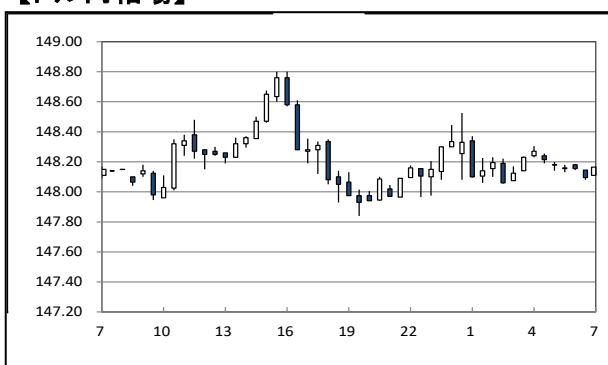
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月19日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	12月 2.6%/2.3%/3.7%	2.5%/2.3%/3.7%
1月19日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	12月 -1.2%/-8.6%	-0.4%/-8.0%
1月19日	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	12月 -3.3%/-2.1%	-0.7%/1.4%
1月19日	22:30	加 小売売上高(前月比)	11月 -0.2%	0.0%
1月20日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	1月 78.8	70.1
1月20日	00:00	米 中古住宅販売件数	12月 3.78m	3.83m
1月20日	02:30	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	「データ次第では利下げ時期の見方を変えることに前向き」	
1月20日	06:15	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	「政策調整が間近だと考えるのは時期尚早だ」	

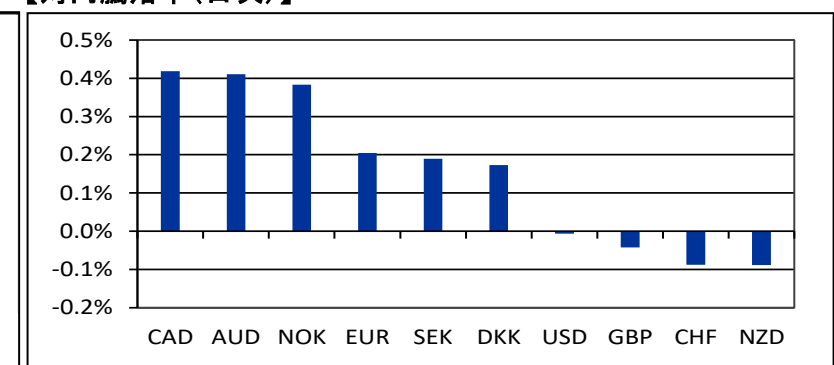
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
------	------	-------	----	----

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.00-149.00	1.0850-1.0950	161.00-162.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は148円台を中心とした推移。148.14レベルでオープンしたドル円は日経平均株価が堅調推移したことや5・10日の実需のドル買いにより上昇。鈴木財務相による円安牽制発言もあったものの影響は限定的となり、ドル円は年初来高値となる148.80まで上伸。海外時間に入り発表された(米)経済指標結果が強弱入り混じるものとなる中、週末を控え動意に乏しい推移が続き148.17レベルでクローズした。本日のドル円は動意薄の展開を予想。本日、明日にかけて日銀政策決定会合が開催される。前回会合では大規模な金融緩和策の継続が決定され、マイナス金利解除に向けた手掛かりも示されなかったことから円売りが加速した。今月1日に発生した能登半島地震を受け、早期のマイナス金利解除がより困難になったとの見方が広がる中、植田総裁が会見で政策修正についてどのような見解を述べるか注目されている。このイベントを控え本日は様子見となり、ドル円は148円台の狭いレンジ推移となろう。